

**グリーンテクノバンク・シンポジウム**  
**「地球温暖化と北海道農業」～脱石油農業への展望～**  
**開催要領**

**趣 旨**

私たちの生活をはじめとして、日本の社会と産業は石油に支えられている。農業も例外ではなく、トラクターや収穫機械、暖房などの燃料としての直接的な消費だけでなく、石油から合成される肥料、農薬および農業用資材などを加えると、現代の日本農業は石油に依存して成り立っていると言える。規模拡大が進む北海道農業では、その依存度はさらに高い。しかしながら石油依存型農業は二つの大きな問題を抱えている。一つは地球温暖化の主因とされるCO<sub>2</sub>の排出源として石油は大きな比重を占めていること、もう一つは石油資源に限りが見えてきて、将来の価格と供給に対する不安も大きい。

一方、農業生産現場の周辺には、光、風、水、バイオマスといった自然エネルギーが満ちている。既に自然エネルギーの活用について局部的な動きはあるものの、総合的な活動には至っていない。石油に依存した現在の体系を見直すとともに、産学官の一層の連携のもとで自然エネルギー利用技術の開発と実用化の促進を図り、持続的農業を展望する場として本シンポジウムを開催する。

**開催日時** 2010年12月20日(月)、10時～17時

**開催場所** 北海道大学学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目、電話:011-706-2141)

**予定参加人数** 250名

**参加費** 無料

**主 催** NPO 法人グリーンテクノバンク、農林水産省

**共 催** 日本気象協会北海道支社、

**後 援** (予定)北海道開発局、北海道、北海道大学大学院農学研究院、(独)農研機構北海道農業研究センター、(地独)北海道立総合研究機構、北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、(社)農林水産先端技術産業振興センター、北海道新聞社、日本農業新聞北海道支所、北海道協同組合通信社、NHK 札幌放送局、HBC 北海道放送、札幌テレビ放送、Tvh テレビ北海道

**1 ポスター展示 1階ホールにて(10:00-16:00、開場 09:45)**

酪農学園大学、岩見沢農業高校、(地独)北海道立総合研究機構、北海道バイオエタノール(株)、(株)グリーンプラン、(株)日伸テクノ、(株)赤平オーキッド、ソーラーネクスト(株)、(株)ウインドエコー、アイスシェルター技術普及協会、NPO 日本自動車公正検定協会(株)カードック札幌)、伊達市、日本気象協会北海道支社

**2 シンポジウム(13:00、開場 12:30)**

(1) 開会挨拶 主催者: 上田 一郎 NPO 法人グリーンテクノバンク会長

(2) 講演(13:10-15:20) 座長 折登 一隆 北海道農業研究センター所長

1) 基調講演(13:10-14:00)

大崎 満 北海道大学大学院 農学研究院教授

2) 事例発表(14:00-15:20)

① バイオガス (14:00-14:20) 今井 俊行 (株)グリーンプラン 代表取締役

② バイオエタノール (14:20-14:40) 五十嵐 隆夫 北海道バイオエタノール(株) 業務部長

③ バイオマス(木質) (14:40-15:00) 山下 茂 伊達市経済環境部農務課 参事

④ ヒートポンプ (15:00-15:20) 市川 裕章 赤平オーキッド(株) 取締役培養生産部長

◇休憩(15:20-15:40)

**3) 総合討論(15:40-16:45)「脱石油農業への展望」**

コーディネーター: 八戸 三千男 NPO 法人グリーンテクノバンク事務局長

パネリスト: 折登 一隆、大崎 満、今井 俊行、五十嵐 隆夫、山下 茂、市川 裕章

岡崎 正昭 岩見沢農業高等学校 校長

(3) 閉会挨拶 共催代表: 若林 孝 日本気象協会北海道支社長

交流会(17:30-19:00) 北大百年記念会館レストラン きゃら亭